

松本歯科大学病理学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	性ホルモンの変動により生じる歯周疾患の病態解明
研究責任者	病理学講座 村上 聡
研究期間	2022年3月1日～2026年3月31日
研究の目的・概要	この研究の目的は、性ホルモンの変動により生じる歯周疾患の病態を明らかにすることです。歯周疾患と思春期や妊娠期に変動する性ホルモンの関連性を明らかにすることで、適切な診断に基づく適切な治療の提供に資することになります。
利用又は他機関に提供する情報	2011年1月1日から2021年12月31日までに松本歯科大学病院で、思春期や妊娠期にエプーリスを含む歯周疾患の手術を受けられた方の以下の試料・情報を利用します。 試料：検体が包埋されたパラフィンブロック 情報：性別、年齢、診断名、発生部位など
試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	保存されているパラフィン包埋試料から未染色切片を作成し、病変内で発現するホルモン受容体のタンパク質の状態をパラフィン切片上で明らかにするために免疫染色といった分子病理学的解析を行います。また臨床病理学的な解析を行うために性別、年齢、診断名、発生部位などの情報を利用して傾向を検討します。
試料・情報を利用する者の範囲	・病理学講座 村上 聡 ・病理学講座 嶋田 勝光
問い合わせ先	松本歯科大学 病理学講座 村上 聡 電話：0263-51-2093